かどま議会だより

No.238
令和8（2026）年
11月1日
ー編集と発行ー
門真市議会
☎06-6902-1231
072-885-1231（代表）

第3回定例会

旧砂子小学校大規模改修工事に係る請負契約の締結など12議案を可決

令和8年第3回定例会は、9月7日に開会し、「門真市民プラザ等移転に伴う旧門真市立砂子小学校大規模改修工事請負契約の締結について」など、市長提出議案17件について慎重に審議しました。

この結果、決算関連議案5件は、決算特別委員会を設置の上、付託し、閉会中の継続審査となり、その他の議案はいずれも原案のとおり可決及び同意し、9月25日に閉会しました。

旧砂子小が新しい複合施設へ 改修工事に向けた契約を締結

契約金額　16億3842万8000円
契約の相手方　大阪市住吉区住吉一丁目1番3-101号　共同建設株式会社
完成期限　令和9年12月24日
（議決結果）反対討論の後、賛成多数で可決

（総務建設常任委員会 審査概要）

問　市民プラザなどから新複合施設に集まる主要施設は。

答　北島図書館や南部市民サービスコーナーのほか、青少年活動センターなどの貸館が新複合施設に集まり、一つにまとまる。

また、多目的室やスタジオのほか、陶芸室、多目的ホールなどを新しく設置する。

問　主な工事の内容は。

答　プールや給食棟等の解体、既存校舎や体育館等の改修、エレベーター棟等の増築を行う。

その他の工事として外構・駐車場工事や敷地北側の道路整備工事等がある。

問　駐車場工事の内容は。

答　グラウンド東側に50台分が収容できる駐車場を整備する。

問　敷地北側道路の整備工事の内容は。

答　2mの歩道を設置し、歩車分離を行う。

問　工事中の安全管理は。

答　朝の通学時間帯は工事車両の通行を控え、工事車両のゲートには交通誘導員を配置するなど、児童や近隣住民への安全確保を最優先に進める。

8年度補正予算（1）
（一般会計補正予算（第5号））

（議決結果）反対討論の後、賛成多数で可決

（文教こども常任委員会 審査概要）

水桜学園のグラウンドなど資材高騰等を乗り越え整備

問　8年度の工事内容は。

答　旧第四中学校校舎や体育館等の解体撤去、グラウンドや校庭貯留施設の整備、敷地周辺の防球ネットやフェンスの整備、敷地西側の歩道や隣接公園の整備に加え、現状の給食調理場を活用し、クラブ更衣室、体育教官室、校務員作業場、トイレなどの改修を予定する。

問　今回の追加予算の内訳は。

答　グラウンド整備工事等に使用する工事資材や労務費の高騰による費用、グラウンドの地中障害物の撤去費用を計上している。

問　校庭貯留施設の仕組みは。

答　グラウンドの表面に最大水深20cm、約2000㎡の雨水を貯留できる設計としており、表面は排水性の良いクレイ補装とし、その下に透水層や透水管を設け、下水道等に流れ込む排水量を抑制するための調整口を設けることで適切な排水処理を行える。





子どもから大人まで、自由を楽しむみんなの学び舎として、
ボーダレスな空間の創造へ

もくじ

○議案審議等の概要……1～3ページ
・市民プラザ等移転に伴う旧門真市立砂子小学校大規模改修工事請負契約の締結、一般会計補正予算（1）
・一般会計補正予算（2）、門真市水道条例の一部改正について
・人事案件など
○一般質問・所管事項の質問……3～7ページ
○議決結果、議会活動日誌……8ページ

８年度補正予算（２）
（一般会計補正予算（第５号））

（総務建設常任委員会 審査概要）

利便性と安全性を向上 市役所新別館の環境を改善

問　新別館で実施する整備内容は。

答　乗合タクシー乗降場所の変更に向けた点字ブロックの整備と、同館１階バリアフリートイレの便器の取替えのほか、執務室のＬＥＤ照明への取替えである。

問　点字ブロックの整備内容は。

答　乗合タクシーのドア・ツー・ドアのメリットを生かすため、市民が利用しやすい乗降場所を検討しており、検討後に点字ブロックを整備する。

問　１階バリアフリートイレの便器取替えの経緯は。

答　便器の座高が低く、車椅子から便座への横移動が難しいため、座高の高い便器に取り替える。

問　照明設備の取替えの経緯は。

答　執務室内の照度が労働安全衛生基準は満たしているが、他課と比較して暗いため、より明るいＬＥＤ照明器具へ取り替える。


改修予定のだれでもトイレ

門真プラザの修繕預り金が返還 工事安全対策の協議等も進む

問　修繕預り金の概要は。

答　市営新橋住宅を含む門真プラザにおいて、共用部分等の修繕のため、管理者である門真都市開発ビル株式会社に預託していたものである。



令和14年の完成に向けて動き始める門真市駅前

問　今回返還となった経緯は。

答　市街地再開発事業に基づく建て替えが実施されるため、これまでの修繕預り金、約８０００万円が市へ返還となった。

問　再開発の進捗は。

答　７年10月に土地区画整理準備組合が結成され、権利者への意向調査や基本設計、換地設計準備等の業務を実施している。

今後は、これらの業務のほか、９年度の土地区画整理組合設立を目指し、事業を進めていく。



石原北・大倉西地区の再開発 権利者への意向調査等が進む

問　同地区の再開発において、予算額が変更となった理由は。

答　現在、土地区画整理事業の実施に向けて、準備組合が権利者に対して、事業へ参画するか、参画せず土地を売却するかの意向確認をしており、売却に応じる件数が想定よりも増加しているためである。

問　再開発の進捗は。

答　７年10月に土地区画整理準備組合が結成され、権利者への意向調査や基本設計、換地設計準備等の業務を実施している。

今後は、これらの業務のほか、９年度の土地区画整理組合設立を目指し、事業を進めていく。

問　工事中の近隣住民に対する安全対策は。

答　小学校をはじめ、関係機関と継続して協議を進めており、近隣住民を対象とした工事説明会の開催日時を調整している。

（文教こども常任委員会 審査概要）

９年度より砂子みなみこども園 給食調理員が外部委託へ

問　現在、直営で実施している認定こども園調理員の業務内容は。

答　食材の検収から調理・配膳、食器具・調理器具等の洗浄、消毒、保管、調理提供のための会議への出席等、調理業務に付随する様々な業務である。


※イメージ
これまでと変わらない安心と安全を

問　アレルギー児への対応状況は。

答　保護者から食物アレルギーに係る申出があった場合、保護者から提出されたアレルギー疾患の生活管理指導表に基づき、担任と看護師で保護者に聞き取りを行っている。

あわせて、園長・担任をはじめ保育士・看護師・調理員によるアレルギー会議を行い、情報共有を行うほか、献立表の保護者への確認等も行っている。

問　食事提供時の工夫は。

答　誤配防止のために、他園児の食事と区別し、個人名を明示するなど、安全・安心な給食の提供に努めている。

問　委託後もアレルギー対応等、業務内容に変わりはないか。

答　直営で実施の業務水準を維持すべく、迅速かつ丁寧に委託に係る仕様書等を精査し、これまでと同様、安全・安心な給食を提供できるように進めていく。

（民生水道常任委員会 審査概要）

安定したごみ処理に向けて 今後の体制と広域化を協議

問　廃棄物処理施設の整備基本方針の策定が必要となった経緯は。

答　国・府のごみ処理広域化の方針に従い、元年度から大阪広域環境施設組合や構成市とごみ処理広域化に向けた協議を開始し、「門真市のごみ処理広域化に関する確認書」を締結し、継続的に協議を進めてきた。

しかし、ごみ焼却工場の建設費高騰やごみ量増加等の影響もあり、組合への加入等は、目途が立っていない状況である。

本市のごみ焼却施設は、13年度以降のごみ処理方法が未定であることから、引き続き広域化に向けた協議は継続しつつ、13年度以降も安定したごみ処理を行うため、本市のごみ処理体制等に係る基本方針を策定する。

問　今後の想定と主な検証内容は。

答　市単独建て替え、既存施設の基幹的設備改良工事、産業廃棄物処理業者との共同処理、他市との連携の４手法を想定する。

手法ごとのスケジュールや実現可能性の検討、効率的なごみの中継輸送や受入れ方法の検討等の検証を行う。



問　現時点の課題は。

答　廃棄物処理施設の整備工事に伴う予算の確保や工事中におけるごみ処理業務の継続、他市との連携について合意形成を図ることができるか等が挙げられる。

問　値上げを行う具体の理由は。

答　人口減少や節水機器の普及等に伴い、料金収入の減少が見込まれている一方、物価や人件費の上昇等に伴い、老朽水道管等

26年振りの改定へ 10年1月に水道料金が値上げ

門真市水道条例の一部改正については、現在の水道事業の経営状況に鑑み、水道事業の持続可能な経営基盤の構築に向けた水道料金の適正化を図るものです。

（議決結果）反対討論の後、賛成多数で可決

の更新や耐震化事業等に必要な経費は増加の一途である。
　このような中、これまで業務の効率化や改善に努めてきたが、現行の料金水準のままでは、将来にわたり必要な事業の継続が困難になると見込まれ、収益の確保が必要となるため、独立採算制の考え方に基づき、料金の値上げを行う。

問　値上げを10年1月からとした理由は。

答　特に使用量が増加する7月～10月の期間を避けることで使用者負担の軽減に配慮している。

問　値上げを2回に分ける理由は。

答　平成14年以来の値上げとなり、使用者への負担が一気にかからないようにするためである。

問　値上げの1年以上も前に条例の改正が必要な理由は。

答　料金改定率が大きく、使用者への丁寧な周知期間の設定や、料金システムの改修等が必要なためである。

問　今回の値上げ後の見通しは。

答　今後は、３年から５年ごとに事業の進捗状況や経済状況等を検証し、適正な価格設定を行い、使用者への急激な負担の軽減に努めていく。

人事案件に同意

〈固定資産評価審査委員会委員の選任〉

北岡　愼太郎（きたおか　しんたろう）

　本件は同委員の任期が８年12月13日をもって満了することに伴い、提案されたもので、選任に同意しました。

〈教育委員会委員の任命〉

松宮　新吾（まつみや　しんご）

　本件は同委員の任期が８年９月30日をもって満了することに伴い、提案されたもので、任命に同意しました。

決算特別委員会設置

　今回の定例会に提案された令和７年度の決算関連議案５件については、慎重に審査する必要があるため、決算特別委員会を設置し、閉会中の継続審査を付託しました。

決算特別委員会委員構成

委員長	岡本　宗城
副委員長	深井　弘晃
委員（議席順）	森　博孝
	寺西　敬子
	滝井　稔元
	後藤　太平
	大倉　基文
	福田　英彦

本会議　総務建設　民生水道　文教こども

一般質問・所管質問

　９月25日の本会議において、15名の議員が市政に対する一般質問を行いました。
　また、９月９日、10日、11日の各常任委員会において、12名の議員が所管事項に対する質問を行いました。
　本会議または、各常任委員会で行われた主な質問と答弁の要旨を３面から６面に掲載しています。（議席順）

質問・答弁の詳細な内容については、市議会ホームページをごらんください。
※第３回定例会の会議録は11月下旬に掲載する予定です。

本会議



深井　弘晃
（真政会）

中期的な財政収支見通しとまちづくりについて

問　金利上昇が続く中、中期的な収支見通しの作成に当たり、金利動向のシナリオ設定や複数ケースによる影響分析も踏まえ、算定方法をどのように考えていくのか。

答　金利変動による財政への影響が大きいため国・府や他市町村の事例も研究しながら、より効果的な算定方法を模索する必要があると認識している。

問　市有地売却の考えは。

答　８年度はひえ島の旧まちづくり活用用地を売却する。

問　市有地の総面積の推移は。

答　将来的に売却可能な土地について収入を見込んでいるが、取得や売却を含めた総合的な計画はなく、市有地総面積の具体的な推移は見込んでいない。

問　北島西・北周辺地区への企業誘致の状況は。

答　物流・企業誘導エリアでは、事業スケジュールなどの要件に適合した進出希望企業が８社あり、共同売却地の売却単価は１㎡当たり20万8000円、共同借地は月・坪当たり1200円～2000円程度を見込んでいる。



本会議



片平　恭子
（大阪維新の会）

ガラスケ号を利用したカドマドへのアクセス方法等について

問　市南東部エリアから直接ガラスケ号でカドマドへ行くことは困難である。カドマドへのバスでのアクセス方法は。

答　ガラスケ号を門真団地で下車し、京阪バスの５番系統に乗り継ぎ、古川橋で下車する。
　その際に130円分の乗継利用券（ガラスケ号利用時に発行）と差額の支払いを行う。

問　ガラスケ号のパンフレットに写真や地図等を使って高齢者でもひと目で分かる「カドマドへの行き方」を掲載してはどうか。

答　新規パンフレットを作成の際には乗り継ぎ例の掲載を検討する。

ふるさと門真まつりで初導入の浴衣deランウエイについて

問　新たな取組である「浴衣deランウエイ」の導入経緯は。

答　お気に入りの浴衣を着てランウエイを歩いてもらい、まつりの思い出に残るひとときを楽しんでもらおうと実行委員会が企画した。

問　来場者や出演者等の反応は。

答　「孫と一緒に歩けて思い出に残った」、「来年以降も続けて」など好評で、まつりの魅力を高めることにつながった。

８年８月８日開催のふるさと門真まつり

本会議



大西　康弘
（真政会）

人口減少と財政制約の中での行政運営とまちづくりについて

問　人口減少と財政制約の中、市民生活を守るため、行政サービスの優先順位について、市の見解は。

答　市民の安全・安心の確保や福祉、教育等、基礎自治体として安定的に提供すべき行政サービスの維持を大前提に、限られた財源を配分し、持続可能な行財政運営に努める。

問　まちづくりへの投資と将来負担をどのように考え、「何を守り、何に投資し、何を見直す」のか。

答　将来的な財政負担を財政収支見通しに反映し、事業の優先順位や実施時期を判断するとともに、まちづくりへの投資を継続する等、まちの成長とより豊かな市民サービス提供の好循環につなげる。

市町村合併と副首都法について

問　守口門真商工会議所の「守口門真未来会議」で、両市の合併が議論されている。市町村合併という選択肢や「副首都法」と門真市の将来についてどう考えているか。

答　市町村合併は本市単独で具体の検討をしていくものではないので、双方の状況を見守っていく。
　また、副首都構想や都構想の議論に注視し、市がよりよい選択ができるよう、将来の自治体経営の在り方を比較・検討していく。

本会議



坂本　拓哉
（大阪維新の会）

こども１１０番運動について

問　同運動は、子どもが危険を感じた際に助けを求めて駆け込めるよう、民家等が目印の旗等を掲げることで、犯罪から守り、被害を最小限にとどめる運動である。
　運動の協力者には旗かタペストリーを無償で配付しているが、この登録方法に疑問を感じている。
　登録申請時の記載項目のうち、氏名欄については店舗等の場合でも申請者の氏名のみを記載することになっているため、設置場所の形態を把握するのは難しく、保護者等からも不安の声があると聞く。
　登録後は、子どもの命を守る場所にもなるため、申請様式をより詳細に記載する内容に変更するべきと考えるが、市の見解は。

答　追記や修正等は可能であり、こども１１０番の家の状況等をより正確に把握できるよう、様式の変更を検討していく。



問　これまで申請内容の詳細までは未確認とのことだが、子どもの安全・安心のために確認が必要と考える。市の見解は。

答　窓口で記載内容を一定確認するとともに、協力者とのコミュニケーションを図りながら子どもたちにとってより一層安全で安心なまちとなるよう取り組んでいく。

本会議



池田　治子
（真政会）

聴覚障がい者の理解について

問　門真市民プラザでのブルーライトアップの実施内容は。

答　「手話言語の国際デー」「手話の日」の啓発の一環として、正面玄関をシンボルカラーの青色でライトアップしたものである。

問　避難所における聴覚障がい者の不安や困り事への配慮は。

答　必要な情報が確実に届く配慮が必要であると認識している。

問　筆談ボードについての考えは。

答　円滑な意思疎通に有用なツールと認識している。

国勢調査速報の人口減について

問　本市の人口減少率は他市と比較して高いが財政運営への影響は。

答　普通交付税等の一般財源が減少することで、財政に影響を与える可能性がある。

庁舎エリア整備の延期について

問　財政危機のため、庁舎エリア整備を延期する期間の想定は。

答　今後10年間は実施できる状況にはなく、総合的に検討していく。

建築事業の縮減について

問　今後の建築事業の考え方は。

答　事業費全体の１割程度の縮減や事業年度の平準化への取組により、今後10年間の安定的かつ健全な行財政運営の維持を目指す。

民生水道



森　　博孝
（真政会）

大阪広域水道企業団への統合について

問　大阪広域水道企業団への身分移管に関する意向調査の状況は。

答　７月中旬から３週間程度をかけて水道事業所管課の職員に対し、勤務条件を提示した上で説明を行い、希望の有無を確認した。
　調査の結果、対象者37人のうち、11人が身分移管を希望している。

問　職員に提示した労働条件は。

答　原則として、給与、手当等の各種勤務条件や人事評価等は同企業団の制度を適用することになる。人事異動は、統合後も引き続き住民サービスを維持していくため、本人希望がある場合を除き、原則、他の水道センターなどへの配置転換は行わないことを確認している。

問　今後のスケジュールは。

答　統合後の安定した事業運営には身分移管をする職員が一定数必要なことから、意向調査の結果を踏まえ、企業団と人員配置について協議していく。
　また、身分移管を希望しないとした理由等の分析や水道事業経験者へのヒアリングなどの対応を協議し、11月下旬の身分移管に関する同意書の提出までに希望する職員を取りまとめる予定である。



本会議



寺西　敬子
（公明党）

庁舎エリア整備の今後について

問　庁舎エリア整備の進捗状況は。

答　７月に庁舎整備部分を当分の間延期すること、８月に今後の方針が決定するまで関連事業を一旦保留することを決定した。

問　今後のスケジュールは。

答　庁舎の現状課題を整理し、中期的な財政収支見通しを踏まえ、今後の方針を検討する。

問　高齢者や障がい者、乳幼児連れなど、多様な市民が利用する市役所には、「誰もが安全で負担なく移動できる環境」に整える視点が重要である。今後、新別館への歩行環境を改善する考えは。

答　今後、安全で負担なく新別館へ移動できる対策等を検討していく。



安全面への課題がある砂利敷通路

かどま歴史ミュージアムを拠点とした魅力発信について

問　歴史ミュージアムを「門真を巡る拠点」とし、市内の歴史や文化に触れる仕掛けをつくることで、文化・観光・商業を結ぶ回遊性が生まれ、市全体の魅力発信にもつながると考えるが、市の見解は。

答　シェアサイクルポートの設置で、市内の回遊性向上が見込まれるため、同館を拠点とした市の魅力向上につながる取組を検討する。

市議会の傍聴にお越しください

●第４回定例会の開催予定（日程は都合により変更となる場合あり）

と　き			内　容
12月	２日（水）	午前10時から	本　会　議
	４日（金）		総務建設常任委員会
	７日（月）		民生水道常任委員会
	８日（火）		文教こども常任委員会
	17日（木）		本　会　議（一般質問）
	18日（金）		本　会　議（一般質問）

●傍聴の受付など（誰でも無料で傍聴可能）

	本　会　議	常任委員会
受付時間	午前９時30分から	
受付場所	市役所本館１階 議場前	市役所本館４階 議会事務局
定　員 （先着順）	一般席32人 車椅子使用者席３人	10人

※最終日の終了後、議案書を無料で配布しています（先着10人）

民生水道



坂本大次郎
（公明党）

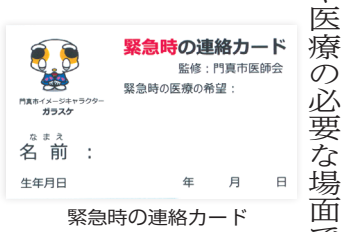
緊急連絡カードについて

問　**高齢者が自宅や外出先で突然の事故や体調不良に遭った際、救急隊等が本人の情報を確認できる「緊急連絡カード」が有効な情報源となる。同カードの詳細は。**

答　緊急時や医療の必要な場面での医療・介護・家族等につなぐ情報連携ツールと位置づけている。同カードの作成配布等は、市医師会に委託し実施している。

問　**高齢者への周知・普及方法は。**

答　市広報紙やホームページでの周知に加えて、高齢者が集う機会を捉え、幅広い啓発活動に努める。



緊急時の連絡カード

KADOMADOと本の返却について

問　**開館後の来館者数は。**

答　８月末時点で約25万人である。

問　**開館以降の図書利用者数３万7698人に対する図書貸出数は。**

答　11万5246点である。

問　**駅や商業施設等への図書返却ポスト設置について、市の考えは。**

答　そよら古川橋駅前への設置に向け、検討を進めている。

また、駅舎等への設置は、他市の事例を参考に調査研究していく。

本会議



池田美佐子
（公明党）

激甚化する豪雨災害から誰もが安心できるまちの実現へ

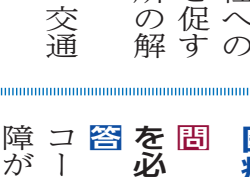
問　**近年、全国で局地的大雨や短時間の集中豪雨が増えており、これまでの経験だけでは対応できない豪雨への備えが必要と考える。８年３月１日に指定・公表した「雨水出水浸水想定区域」を活用したハザードマップの作製について、市の見解は。**

答　現在、寝屋川と古川の氾濫や浸水状況、内水氾濫となった場合の浸水想定と水深を示した洪水ハザードマップを作成しており、議員提案のハザードマップは、９年度の作成に向けて検討していく。

問　**６月の市内浸水被害を踏まえ「どこに弱点があったのか」「何を改善すれば、次の被害を減らせるのか」などを検証し、今後の対策等につなげることが重要である。税や下水道使用料の減免情報等の被害者への案内漏れ防止と徹底も重要と考える。市の見解は。**

答　現在、火災り災者向けの各種支援制度や相談窓口、電話番号等を記載した一覧を作成している。

水害被害者に対しても、支援制度等について、案内漏れがないよう、８年度内の一覧の作成・公表に向けて、取り組んでいく。



総務建設



吉水　志晴
（大阪維新の会）

中期的な財政収支見通しについて

問　**中期的な財政収支見通しでは、11年度には財政調整基金残高が健全化基準を下回り、12年度には将来負担比率が100％を超過し、それぞれ「門真市健全な財政に関する条例及び規則」に定める健全化の条件に抵触するおそれがある。今後の財政運営の考え方は。**

答　このまま事業を継続すると近い将来、借金が財政を圧迫し、返済で財政運営の硬直化が予想されるため、事業の見直しによる市債発行額の抑制が喫緊の課題である。

そのため、庁舎エリア整備の当面の延期、今後の建設事業費の縮減や事業年度の平準化等の方針により、投資スピードを緩め持続可能な行財政基盤を構築する。

問　**物価高騰等による財政運営のさらなる悪化を危惧しており、示された取組以上の見直しの検討が必要と考える。今後の見通しは。**

答　現時点で早期健全化基準等は十分に下回っているが、対策を講じなければ、近い将来、抵触するおそれがある。このことから、持続可能な行財政基盤構築の取組を実施しつつ、投資効果と財政負担とのバランス、事業の進捗状況を見極めながら、市の発展に資する投資を行うことで、まちの成長と財政の健全化の両立を図っていく。

総務建設



滝井　稔元
（大阪維新の会）

自転車の交通ルール改正を踏まえた交通安全対策について

問　**自転車への青切符制度導入に伴う市民周知の内容は。**

答　８年春の全国交通安全運動期間中に本市をはじめ市内事業者や各種団体関係者で構成する門真市交通安全推進協議会によって、広報チラシや啓発品を配布するなど、周知・啓発を行っている。

問　**警察や学校、地域団体等と連携した交通安全教育の内容は。**

答　学校や警察等の関係機関と連携し運転者講習会や小学生を対象に自転車講習会を実施している。

問　**自転車通行の上で危険箇所を把握する方法は。**

答　警察や自治会等と連携し、毎年実施の交通安全総点検や通学路点検により、自転車だけでなく交通安全上の危険箇所を把握し、関係部署間で情報共有を図っている。



問　**安全な通行環境の整備等、今後の対応策は。**

答　市内全域の危険箇所については、地元の要望を受けて、路面への標示シートの貼付けや電柱への巻き看板の設置により注意を促すなど、可能な範囲で危険箇所の解消に努めている。

今後も関係機関と連携し、交通安全対策に取り組んでいく。

本会議



豊北　裕子
（日本共産党）

北巣本四宮前町交差点を歩車分離に

問　**北巣本四宮小学校の児童通学路「宮前町交差点」に歩車分離式信号を市として府警に要望していたが、設置困難との報告を受けたと聞く。市が把握する協議経過は。**

答　警察内部の詳細な協議経過は本市で把握できるものではない。

問　**同報告の受け止めは。**

答　専門的見地に基づき下された判断であると受け止めている。

問　**国の「歩車分離式信号に関する指針」では、通学路において児童の安全を確保する必要がある場合は導入を検討し、渋滞が懸念される場合でも調査や工夫を尽くすよう明記されている。府警に社会実験を求めるべきだがどうか。**

答　府警本部の判断は、指針や様々な情報に基づいて行われたものと考えている。改めて社会実験の実施を求める予定はない。

弁天池公園の早期整備を

問　**「わんぱくランド」の遊具は１年以上も使用禁止でトイレも和式のまま、草も伸び放題。広域避難所としての防災機能を備えた整備・リニューアル計画の時期は。**

答　門真市パークイノベーション計画では、魅力向上に向けたリニューアル整備を行うと位置づけ、財政状況等を見極めながら、具体の内容や時期等を検討していく。

本会議



松本　京子
（公明党）

シニアディスコの開催実現へ

問　**新たな通いの場としてシニアディスコの実現に向けた考えは。**

答　高齢者が通いの場へ行ってみたい、通い続けたいと思うような取組となるよう、本市において、試行的な実施を予定する。

医療的ケア児等の支援について

問　**18歳を迎える医療的ケア児等を必要な支援につなぐ連携体制は。**

答　本人や家族の意向を踏まえ、コーディネーターから18歳以降の障がい福祉サービスの利用調整を担う相談支援専門員等に本人の状況を引き継ぐとともに、支援学校や事業所等の関係機関が協議等を行い、サービス等の移行が円滑に進むよう体制を整えている。

組織的な体制づくりで誰一人取り残さない学校へ

問　**子どものウエルビーイング向上と誰一人取り残さない学校づくりの実現について、市の見解は。**

答　きめ細やかなスクリーニングなど、子どもの小さな変化も見逃さない体制や、専門家との連携等、組織的な対応を行うことで、引き続き子どものウエルビーイングの向上と、誰一人取り残さない学校づくりに取り組んでいく。



本会議



岡本　宗城
（公明党）

リチウムイオン電池の火災事故について

問　近年、リチウムイオン電池による火災が深刻化している。ごみ収集車やごみ処理施設、市の主要施設、避難所等に専用消火剤を配備すべきと考えるが、市の見解は。

答　収集車に強化液消火器を備え付ける対策等を行っているが、さらに有効な消火剤等の情報収集や情報共有等を行い、火災事故の未然防止等の取組を進めていく。



火災で破損した本市のごみ収集車

本会議



内海　武寿
（公明党）

北島西・北地区のまちづくりについて

問　鉄塔移設問題について、関西電力送配電(株)との協議内容は。

答　業務代行予定者等が同社に、鉄塔移設に伴う土地利用計画の変更や事業進捗の遅れから生じる損失の費用負担を求めて進めていた。

問　鉄塔移設の費用負担の結果は。

答　準備組合が主張する土地利用計画変更に伴う換地設計費等を損失として同社がおおむね認め、７月28日付で準備組合と業務代行予定者の三者間で合意書を締結した。

国の交付金を活用した物価高騰対策について

問　今回、プレミアム付デジタル商品券の二次販売を行うに当たり、これまでの課題や市民の声等を映させて、国の交付金をより効果的・機動的に活用した、さらなる具体的な支援策を展開すべきと考えるが、市の見解は。

答　デジタル商品券は、高齢者から「活用しづらい」という声等をまえ、二次販売に併せて、65歳以上の高齢者には、ギフトカード配付を検討している。

　また、家庭学習の習慣化や家庭での読書のきっかけなどを作ることができるよう、市内３～15歳の子どもには、図書カードの配付を検討している。

9月に開催された準備組合第４回総会の内容は。

答　「土地区画整理組合の設立向けた取組を進めることについなどが議題となり、事業計画や地区画整理組合の定款等が審議れ、賛成多数で可決となった。

問　本組合設立までの工程は。

答　年内に本組合設立認可申請行い、９年２月頃の設立認可、月頃の仮換地指定を予定してい

問　市民プラザの移転時期は。

答　生涯学習センターと北島図館は、10年４月オープン予定の市民プラザに合わせた移転を予する。また、こども発達支援セターと教育支援ルーム「かがやき」は、12年１月供用開始予定の南部市民センター活用複合施設に合せた移転を予定する。

本会議



大倉　基文
（大阪維新の会）

守口市と門真市の合併について

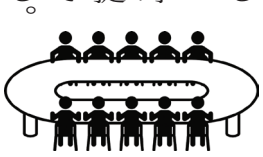
問　守口市との合併について、これまでの変遷は。

答　手厚い財政措置等を背景に、全国的に市町村合併が推進される中、平成13年８月に門真市合併問題研究会が発足するなど、合併に向けた議論がスタートした。

　その後、14年第１回定例会で守口市との合併の表明がなされ、特別委員会の設置や守口市との協議を経て法定の合併協議会が設置された。15年４月から16年８月まで、同協議会を計19回開催した後、16年９月の住民投票の結果を受け同年12月に解散となった。

問　守口門真未来会議が商工会議所で立ち上がっていると聞く。改めて合併協議会の内容は。

答　合併協議会は、合併しようとする市町村が合併の是非を含め、必要な協議を行う場であり、任意協議会と地方自治法等の規定を根拠とする法定協議会に分けられる。法定協議会の役割は、市町村建設計画の作成、新市町村の名称、庁舎の位置、合併協定項目に関する協議等、多岐にわたり、市町村合併協議の根幹となるものである。なお、法定協議会は、市町村長が設置議案を提出し、市町村議会での議決が必要となる。



本会議



五味　聖二
（大阪維新の会）

市内建設業者の育成について

問　市内建設業者を育成するために実施している取組は。

答　設計金額や入札参加者数が一定条件の場合の市内業者に限定した発注、入札参加資格要件として求める施工実績や総合評点の引下げを実施している。

　また、技術者の配置が適正に行われることを条件に、他工事の施工中でも入札の参加が可能である。

　なお、７年度には土木一式工事・建築一式工事・電気管工事・その他工事の設計金額に対する総合評点をさらに引き下げた。

問　取組による効果は。

答　７年度の全発注件数51件のうち、市内業者限定の発注件数は39件であり、７割以上の件数を市内業者に発注している。

問　先日、門真市建設業協同組合から「入札発注案件における建築工事などの金抜き内訳明細書について」の要望が届いた。本市には当該明細書がなく、人材不足の建設業界では積算に相当な労力と時間がかかり、短期間の見積り算出には大変苦慮しているとのこと。

　結果的に入札不調となるケースもあり、市は計画中止や再入札を余儀なくされ、お互いにメリットがない。今後の市の対応は。

答　同明細書の公開を早期に実施できるよう鋭意検討を進めていく。

本会議



福田　英彦
（日本共産党）

全国３番目に高い介護保険料・高い国保料の引下げについて

問　全国で３番目に高い介護保険料を第10期計画では基金を積極活用し引き下げるべきだが、どうか。

答　介護特会の基金残高は約11・４億円を見込んでいる。第９期計画では１億円の活用で、保険料月額約90円の引下げ効果がある。

問　府国保会計余剰金は約250億円。高い国保料の引下げを府に対して具体に要望すべきでは。

答　財政調整事業等による保険料引き下げを府に要望する。

大阪広域水道企業団への事業統合後の諸課題について

問　事業統合による財政的効果は。

答　国交付金は、統合した場合、約23・６億円で市単独より約10・２億円の財政的効果を見込む。

問　統合後の市民サービスは。

答　統合型料金システムへの移行により、クレカ払いが可能となる。

問　施設の更新・耐震化計画は。

答　企業団での引継ぎを確認しており、申合せ書に記載する。

問　統合後も市議会等が継続してチェックできる仕組みの考えは。

答　担当部署を設け、必要に応じ、市議会への報告や市民周知も行う。

問　身分移管希望者は11人だが。

答　必要職員は30人で派遣職員とで対応。希望者増加に向け調整中。

にほんごがわからないひとへ

カタログ　ポケット
Catalog Pocket

10言語対応の「議会だより」をデジタルブックで配信しています。
You can read “kadoma council News” in 10 languages by the application.

■ iOS版
App Store からダウンロード

■ Android版
Google Play で手に入れよう

■市政に対する一般質問の要旨（通告順）

岡本　宗城（公明党）
1　リチウムイオン電池について
2　物価高騰対策について

池田美佐子（公明党）
1　豪雨災害について

寺西　敬子（公明党）
1　庁舎エリア整備事業について
2　かどま歴史ミュージアムの魅力発信と利用促進について

福田　英彦（日本共産党）
1　全国で３番目に高い介護保険料・高い国保料の引下げについて
2　大阪広域水道企業団への事業統合後の諸課題について
3　学校適正配置と地域会議について

内海　武寿（公明党）
1　北島西・北地区のまちづくりについて
2　中小企業支援について

豊北　裕子（日本共産党）
1　弁天池公園の整備・リニューアルについて
2　国道163号宮前町交差点の歩車分離式信号機設置について
3　門真市の物価高騰対策について

松本　京子（公明党）
1　健康寿命延伸と高齢者認知症予防について
2　医療的ケア児等の支援体制について
3　いじめ対策と不登校対策について

大倉　基文（大阪維新の会）
1　門真市と守口市の合併について

片平　恭子（大阪維新の会）
1　ガラスケ号の運行範囲内の地域からＫＡＤＯＭＡＤＯへのアクセス方法と周知について
2　ふるさと門真まつりについて

大西　康弘（真政会）
1　人口減少・財政制約の中で、市民生活を守るための行政運営とまちづくりについて
2　人口減少社会における門真市の将来の自治体経営について

五味　聖二（大阪維新の会）
1　市内業者の育成について

滝井　稔元（大阪維新の会）
1　物価高騰対策について
2　門真市重層的支援体制整備事業について
3　市立図書館及び学校図書館の図書調達について

坂本　拓哉（大阪維新の会）
1　こども110番運動について

深井　弘晃（真政会）
1　中期的な財政収支見通しの状況とまちづくりについて

池田　治子（真政会）
1　国勢調査速報の人口減について
2　庁舎エリア整備の延期について
3　建設事業の縮減について
4　聴覚障がい者の理解について

■各常任委員会の所管事項に対する質問の要旨（通告順）

●総務建設常任委員会

吉水　志晴（大阪維新の会）
1　中期的な財政収支見通しについて

大西　康弘（真政会）
1　大和田駅前広場整備事業について

滝井　稔元（大阪維新の会）
1　門真市駅前地区第一種市街地再開発事業に伴う門真都市開発ビル株式会社の解散手続について
2　自転車の交通ルール改正を踏まえた交通安全対策等について
3　シティプロモーションサイトについて

福田　英彦（日本共産党）
1　国庫支出金の内示割れに伴う市財政及び事業進捗への影響について
2　市営住宅の空き家及び募集状況について
3　北島西・北周辺土地区画整理事業における北島鉄塔移設計画の変更に係る経緯について

●民生水道常任委員会

坂本大次郎（公明党）
1　緊急連絡カードについて
2　門真市立文化創造図書館ＫＡＤＯＭＡＤＯの本の返却について

池田美佐子（公明党）
1　マイナンバーカードについて

豊北　裕子（日本共産党）
1　生活保護の追加給付について
2　プレミアム付デジタル商品券について

森　　博孝（真政会）
1　大阪広域水道企業団への統合について

●文教こども常任委員会

松本　京子（公明党）
1　ＪＥＴプログラムについて
2　ＲＳウイルスワクチンの定期接種について

寺西　敬子（公明党）
1　通学路対策について
2　学校における紫外線対策について
3　小中一貫教育について

大倉　基文（大阪維新の会）
1　学力向上の取組について

池田　治子（真政会）
1　誰一人取り残さない取組について



第３回定例会で審議した案件と議決結果

議案番号	議案名	公明党 寺西敬子	公明党 坂本大次郎	公明党 池田美佐子	公明党 松本京子	公明党 後藤太平	公明党 岡本宗城	公明党 内海武寿	大阪維新の会 片平恭子	大阪維新の会 坂本拓哉	大阪維新の会 吉水志晴	大阪維新の会 滝井稔元	大阪維新の会 大倉基文	大阪維新の会 五味聖二	大阪維新の会 今田哲哉	真政会 深井弘晃	真政会 大西康弘	真政会 池田治子	真政会 森博孝	日本共産党 豊北裕子	日本共産党 福田英彦	議決結果
報告	報告第６号 令和７年度門真市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	議決不要
条例	議案第62号 門真市「財政事情」の作成及び公表に関する条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
	議案第63号 門真市税条例及び災害による被害者に対する門真市税の減免に関する条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	可決
	議案第64号 門真市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
	議案第65号 門真市水道条例の一部改正について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	可決
その他の議案	議案第59号 門真市民プラザ等移転に伴う旧門真市立砂子小学校大規模改修工事請負契約の締結について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	可決
	議案第60号 （仮称）新統合小学校他整備工事に伴う四宮小学校解体工事請負契約の一部変更について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
	議案第61号 大阪府後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	可決
補正予算	議案第66号 令和８年度門真市一般会計補正予算（第５号）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	×	可決
	議案第67号 令和８年度門真市国民健康保険事業特別会計補正予算（第１号）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
	議案第68号 令和８年度門真市介護保険事業特別会計補正予算（第２号）	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	可決
人事案件	議案第69号 固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	同意
	議案第70号 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	同意
決算案件	議案第57号 令和７年度門真市水道事業剰余金の処分について	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	継続審査
	議案第58号 令和７年度門真市公共下水道事業剰余金の処分について	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第１号 令和７年度門真市歳入歳出決算認定について	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第２号 令和７年度門真市水道事業会計決算認定について	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	継続審査
	認定第３号 令和７年度門真市公共下水道事業会計決算認定について	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	継続審査

（議長につき、採決に参加なし）　（欠席）

※表の見方　『○』は賛成、『×』は反対。会派名は大会派・公党順、議員名は議席順。

議 会 活 動 日 誌（令和８年８月１日～10月31日）

8・7　大阪府市議会議長会理事会
8・21　大阪府市議会議長会総会・研修会
8・31　議会運営委員会
9・7　本会議（第３回定例会開会）
9・7　決算特別委員会
9・9　総務建設常任委員会
9・10　民生水道常任委員会
9・11　文教こども常任委員会
9・15　議会運営委員会
9・25　本会議（第３回定例会閉会）
10・7　近畿地方治水大会
10・9　近畿市議会議長会議長研修会
10・14　決算特別委員会
10・21　決算特別委員会
10・22～23　守口市門真市消防組合議会管外行政調査
10・26　東部大阪治水対策促進議会協議会総会
10・28　決算特別委員会

